



京都市立芸術大学移転整備プレ事業／状況のアーキテクチャー 2017 プロジェクト 7「Far Away/So Close: 開かれた共同体」

# still moving 2017

## 距離へのパトス—far away/so close

2017年9月23日(土・祝)-11月5日(日) ※土日祝のみ  
元崇仁小学校とその周辺 12:00-17:00 入場無料

主催：京都市立芸術大学／企画：京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA / 助成：平成 29 年度文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」／協力：京都市、東アジア文化都市 2017 京都実行委員会（東アジア文化都市 2017 京都 アジア回廊 現代美術展 特別連携事業）、崇仁高瀬川保勝会(京都市立芸術大学を核とするエリアマネジメント)

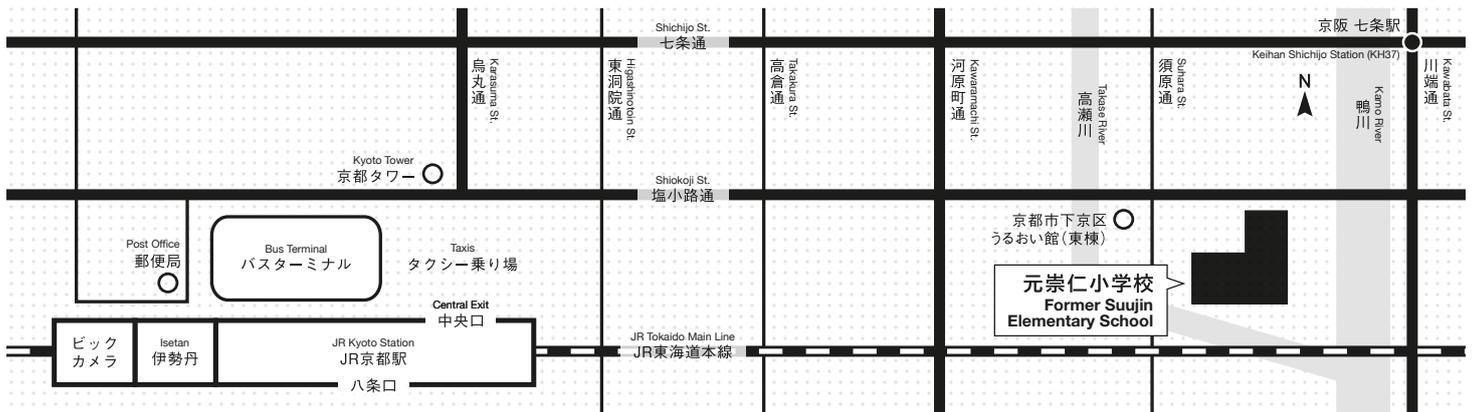
IN ADVANCE OF KCUA'S RELOCATION/KCUA SITUATION DESIGN 2017: PROJECT 7 "FAR AWAY/SO CLOSE: THE OPEN COMMUNITY"

# STILL MOVING 2017

## THE SOCIALISM OF DISTANCE – FAR AWAY/SO CLOSE

SEPTEMBER 23 – NOVEMBER 5, 2017 ON SATURDAYS, SUNDAYS, AND NATIONAL HOLIDAYS (OCTOBER 9 AND NOVEMBER 3) ONLY AT/NEAR THE FORMER SUUJIN ELEMENTARY SCHOOL FROM 12 TO 5 PM (FREE ADMISSION)

ORGANIZED BY KYOTO CITY UNIVERSITY OF ARTS AND PLANNED BY KYOTO CITY UNIVERSITY OF ARTS ART GALLERY @KCUA WITH FUNDING FROM THE AGENCY FOR CULTURAL AFFAIRS AND THE COOPERATION OF KYOTO CITY, THE CULTURE CITY OF EAST ASIA 2017 EXECUTIVE COMMITTEE, AND THE SUUJIN TAKASEGAWA HOSHOUKAI



# still moving 2017

## 距離へのパトス—far away/so close

2023年、京都市立芸術大学はJR京都駅東側エリア、崇仁地域への移転を予定しています。この移転の計画が立ち上がって以来、移転整備プレ事業として数々の活動が崇仁地域を中心に京都市内各所で実施されてきました。なかでも「still moving」は、移転後の大学のあり方を探る実験的なプロジェクトとして継続して行っているものです。

第3回となる「still moving 2017: 距離へのパトス—far away/so close」では、「展覧会」というフォーマットに私たちの取り組みを当てはめないことにしました。「still moving」と名付けられた期間外にも、移転に向けた活動は続いています。そのため、初めと終わりのあるように見えてしまう「展覧会」ではなく、日々続いている活動をイベント形式で一般公開する期間と位置付けます。

形式にとらわれないということは、今回のテーマである「距離へのパトス—far away/so close」にも表れています。「近くて遠い、遠くて近い」で表されるもの

は、数値で表すことのできる具体的な距離ではなく、あくまで個人の主観に基づいた感覚になりますが、その感覚自体、背景にある文化や環境に左右されるものだと言えます。「still moving」では、京都市立芸術大学と崇仁地域との間を中心にモノ・ヒト・コトの「移動」を軸とする実験を通して、この「移動」がそれぞれにもたらすものについて考察してきましたが、これには、「far away/so close」といった距離の感覚を生じさせている、文化や環境という条件を一度フラットにし、解体あるいは再構築しようという意図もあります。

芸術大学というものは、しばしば社会から一つ線を隔てたもののように捉えられますが、郊外型キャンパスから街中に移転した新たな大学は、社会と常に接点をもちながら、互いに作用し、変化し続けるものとなるでしょう。拡張された場における新しい芸術大学のあり方を探る「still moving」のプロジェクトは、その名の通り、流動体のようにとどまることなく動いていくのです。

**特に時間の記載のないものはプロジェクト期間中(9月23日-11月5日)の土・日・祝の各日12:00-17:00に開催**  
元崇仁小学校 / 〒600-8202 京都市下京区川端町16 / 京阪線七条駅1番出口から徒歩7分、地下鉄烏丸線京都駅ホルタA3出口から徒歩7分、JR京都駅八条東口から徒歩8分

### Re Play: 未完の記譜法

「建築 Symposion—日独仏の若手建築家による—」(8月26日-9月3日、京都芸術センター)にて制作された若手建築家による仮設空間のうち、一部を運搬・再構築し、「集団の身体相互行為を誘発する実験装置」として捉え直します(アーキテクチャーからアーキテクチャーへ)。この移動と「Re Play」は、装置が誘発するヒトの振る舞い自体をどのように変えるのでしょうか。

プロジェクトメンバー：高橋悟+倉智敬子ほか

会場：元崇仁小学校 体育館

### フロアとストック

「フロアとストック」プロジェクトチームメンバーが毎週末に入れ替わるリレー形式にて、展示あるいはパフォーマンスを行います。

展示作家は各々、大学やアトリエから崇仁へと移動し、その移動中の音を1台のレコーダーで録音します。それをバトンのように引き継いでいき、展示中は自分の録音した音を再生します。その音が再生される時間のみパフォーマンス・展示を実施する、というルールに基づいていますが、解釈はそれぞれの作家に委ねられます。

プロジェクトリーダー：金氏徹平

会場：元崇仁小学校 図書室(北館2階)

### Moving Terrace Works

京都市立芸術大学移転整備コンセプト《terrace》を持ち運び可能な形で実現しようとするプロジェクト。荷台付き三輪車「Moving Terrace」とともに街へ出て、公共圏に共有空間を作り出すなどの路上実験を試みています。プロジェクト期間中は、元崇仁小学校に「Moving Terrace」に関する作戦会議を行うための基地を構えます。基地内には活動のアーカイブなどを展示します。また、「Moving Terrace」ゲストを交えながら流動的に活動します(稼働していない時は基地に駐車されています)。

プロジェクトメンバー：坂東幸輔、藤田瑞穂ほか

会場：元崇仁小学校 コンピューター室(北館1階)、周辺の路上など

### アナ☆ボル

「アーキテクチャー」としての継続的な公開制作と実験

**お問合せ先：京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA | PHONE: 075-253-1509 | E-MAIL: gallery@kcuu.ac.jp**

験を行います。

※アナボル：大正期のアナーキスト+ボリシェビキを合わせた総称

プロジェクトメンバー：高橋悟+倉智敬子、畑中英二ほか  
会場：元崇仁小学校 用務員室(北館1階)

◎考古学フィールドツアー+レクチャー

9月23日(土・祝)15:00-17:00

講師：畑中英二(陶磁史・考古学/京都市立芸術大学美術学部准教授)

◎土練り鍾馗人形制作ワークショップ

9月30日(土)13:00-15:00

講師：倉智敬子(美術家/京都市立芸術大学美術学部非常勤講師)、高橋悟(美術家/京都市立芸術大学美術学部教授)、畑中英二(陶磁史・考古学/京都市立芸術大学美術学部准教授)

◎「キコエナイヤキク」

10月22日(日)-11月5日(日)

ドローイング、オブジェを使用した空間実験

◎「アナ☆ボル」体験カラオケ

11月4日(土)-11月5日(日)

金氏徹平『tower (THEATER)』公開稽古

9月23日(土・祝)、24日(日)、30日(土)、10月7日(土)、8日(日)、9日(月・祝) 各日とも12:00-17:00

KYOTO EXPERIMENT 2017 公式プログラムとして10月14日、15日にロームシアター京都にて世界初演を迎える金氏徹平の新作舞台作品『tower (THEATER)』の稽古場を公開します。(事前申込不要・公開時間中の出入り自由)  
会場：元崇仁小学校 体育館

ワークショップ「We are between the Sun and the Earth」—太陽と地球のあいだで

9月23日(土・祝)13:00-15:00

10月9日(月・祝)12:00-14:00

会場：元崇仁小学校 敷地内各所

元崇仁小学校での「影」をテーマとしたワークショップ。制作した日光写真は、プロジェクト期間内、元崇仁小学校内に展示します。

◎影の採集：もうしばらくすると取り壊される元崇仁小学校内の影を、日光写真で採集します。校舎が取り

壊されて、更地になってしまうと影もなくなります。残したい影を探します。

◎影の制作：学校内にあるものや用意したロープや針金などを使って、影を作り、日光写真で記録します。

講師：杉山雅之(美術家/京都市立芸術大学美術学部非常勤講師)、杉山優子(造形作家)

持ち物：帽子、飲み物、タオル、できればサングラス

参加費：無料

定員：20名(要事前申込)

※参加を希望される方は、各開催日の3日前までに京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA ウェブサイトの申込フォームまたはメール、電話にてお申込みください。

### 漂流するアクアカフェ

2017年10月22日(日)

◎ワークショップ「まちの景色を染める水」13:30-

◎第7回漂流するアクアカフェ「水=自然と関わる術をめぐって」(仮)15:00-

各イベント要予約。詳細は京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA ウェブサイトに公開予定。

プロジェクトメンバー：井上明彦、谷澤紗和子、むらたちひろ、山田毅

崇仁高瀬川保勝会+井上明彦

◎高瀬川にテラスをつくる

10月7日(土)-10月30日(月) ※準備・撤収期間含む

◎高瀬川のそうじとまちづくりについてのミーティング

10月7日(土)、11月4日(土) 各日とも13:30-16:00

集合場所：下京いきいき市民活動センター前

◎「我ら、山水河原者の末裔なり」記念シンポジウム

2017年10月28日(土)17:00-19:00(16:30開場)

会場：崇仁船鈴保管庫

基調報告・講演：山内政夫、中村伸之、佐藤知久

主催：京都市、NPO法人崇仁まちづくりの会

そのほかイベント等が随時発生します。最新情報は京都市立芸術大学ギャラリー@KCUAのウェブサイト(<http://gallery.kcuu.ac.jp>)にてご確認ください。